

生活者による DIY 的景観向上を目指して

－ 長門湯本温泉「おてがるリノベパンフレット」の手法 －

Challenge for Improving the Townscape by residents DIY

: From the Experience of Making "the Pamphlet on Easy DIY Landscaping Method" for Japanese Hot Spring Town

福永 裕美* 川原 晋** 益尾 孝祐***

Hiromi Fukunaga Susumu Kawahara Kousuke Masuo

1. はじめに

生活景や文化的景観といった景観概念の展開の中で、建築物や工作物、土木構造物だけでなく、生活者が日常生活の中で屋外に設置する道具や什器、設備機器や物置など（以下、道具・付属物と呼ぶ）も、重要な景観要素であるとの認識が一般的であろう。各地の景観ガイドラインにも、これらの要素が盛り込まれることもしばしばである。しかし、重要伝統的建造物群保存地区のように、歴史的風致が目に見える形で維持され、生活者の景観意識も高く、助成制度もあるような地区をのぞけば、道具・付属物を設置している生活者への具体的な働きかけは、法的担保も弱く、小規模で数も多く、費用や動機面でも難しいのが現状である。改修行為とも異なり、景観の専門家が関与する機会も乏しい。そこで、いかに「生活者自らの手で」「手に入れ易いもので」「一定水準の景観を作る」かが重要となろう。すなわち、生活者による DIY 的取り組みでの景観向上につながることを目指す必要がある。しかしこうしたことは、実践としても研究としても蓄積が少ない。そこで本稿では、この課題に取り組むため、温泉街のまちづくりの一環で、生活者による景観向上を目指した取り組みを支援するツールとして制作した「おてがるリノベパンフレット」を紹介し、考察したい。

2. 制作の経緯

山口県長門市の長門湯本温泉では、官民連携により温泉街の再生に取り組んでおり¹⁾、まちづくりの一環として観光地の価値形成やクオリティを支える景観ガイドラインを策定している²⁾。道路や河川などの公共空間や民地の地先空間の豊かな活動シーンをイラストで提示し、良質な民間投資を誘導し、一方で長門湯本らしさを欠く事業をコントロールすることをねらい、また、夜間景観の積極的な形成や、現代の観光者のニーズであるおもてなし・交流の雰囲気を出すためのルールやアイデア

がまとめられている(2018年策定、長門市 HP で公開)。

そして、この景観ガイドラインがめざす姿を具体化させるために、これまで「おとずれリノベ」と呼ぶ民間敷地でのリノベーションや修景を専門家が提案型で積極的に働きかける取組と、「おてがるリノベ」という生活者自身がつくる DIY による景観向上のノウハウを示したパンフレットを制作してきた。

「おとずれリノベ」では、まず、温泉街再生にとって要所となる店舗等や景観上重要な建造物、空き家や空き店舗をリスト化し、温泉街に追加に必要な業態構成も検討した「おとずれリノベマップ」を作成した。次に、所有者へのヒアリングや間取り調査、リノベーションの事業化相談や修景スケッチ提案を通して、2018年から2020年の3年間で、10件のリノベーション・修景を実現させた。建築設計や照明デザインの専門家とリノベーションを得意とする工務店が連携した取組であった³⁾。

「おてがるリノベパンフレット」はこれに続く取組として、長門湯本温泉でのリノベーションを複数手がけた主著者が制作した。

3. 制作に活かされた制作者の現場経験

(1) 経歴

制作にあたり主著者の経歴・経験が役立ったので、紹介したい。主著者の福永は、関西大学建築学科建築環境デザイン研究室卒業後、リノベーション業界のパイオニアである大阪のアートアンドクラフトという会社で、住宅のリノベーションのノウハウを培った。相談者は他にないものを求める方や、新建材で張り巡らされた新築に違和感を持つ感度の高い方が多く、100人以上の方の価値観と向き合い、リノベーションの提案を行ってきた。同社退職後は、大阪市内にある実家の工務店に戻り、現在もリノベーションに携わり、DIYを取り入れた設計や現場管理を行い、DIYのサポートも行っている。

*はちふく(株式会社 福永工務店) Hachifuku (Fukunaga Komuten Co., Ltd.)

**東京都立大学 都市環境学部 観光科学科 Tokyo Metropolitan Univ., Dept. of Tourism Science

***愛知工業大学 工学部 建築学科 Aichi Institute of Technology Univ., Dept. of Architecture

キーワード: 1) 景観形成, 2) ガイドライン, 3) リノベーション, 4) 道具, 5) DIY

(2) リノベーションの現場

中古住宅をリノベーションするにあたっては、どうしても全ての部屋に手を入たいという状況が多々ある。施工面積を減らさずに、壁は質感のいい左官仕上げが良く、床は無垢フローリングを使いたい、システムキッチンが新建材のツルピカッとしたものは嫌だ、プラスチックのシルバー風塗装は嫌いだ、といった好みの問題と、生活や性格上こまめな掃除が苦手、毎日の動作や負担はできるだけ少なくしたい、といった機能面の需要とのバランスを問われ続け、デザイン性を担保しながら、予算と要望のちょうどいい塩梅を探っていく。

(3) DIYの現場

プロの職人ではないが、使う材料や工程を知っていることから、DIYの準備サポートや手順のレクチャーも行っている。リノベーションの中でDIYを取り入れる方は支払い面で費用を押し下げられるという理由もあるが、経験することによる思い出づくりや愛着を理由とする場合が多い。ただ、ものづくりに興味があり、何かを自分で作ったり、日曜大工の経験がある方ばかりではなく、興味はあるが今まで何もつくったことがない方が大半で、そういった方と一緒に作業する中で、初めてDIYに挑戦

される方がわからないポイントを知ることができた。そして、自分にはできないと思っている方とのやり取りの中では、これくらいならできるかもしれない、やってみようかなと思えるポイントを知ることができた。

4. おてがるリノベパンフレットの具体内容


そこで、パンフレットの構成は、こうした経験を活かし、①ビフォー・アフターの事例イラスト、②景観向上のひとつポイント、③物品選定のポイント、④DIYのアイデア、⑤DIYの施工方法、⑥あかりの工夫とその方法、⑦おすすめの販売店・販売サイト、⑧ゴミの捨て方、をまとめた12ページの冊子となっている。その内容を一部抜粋しながら紹介する。

(1) 項目の設定

まずは温泉街の景観重点地区を歩き、景観上の改善点やそこで生活する人が必要としているものを拾い出し、項目を設定した(表1)。また観光地であることから、店舗の設えや見栄えを考え、知っておくと活用できそうな項目や、おもてなしの観点で生活者が楽しめる項目、観光客目線であると嬉しい項目も盛り込んだ。

(2) 見せ方

特徴としては、「①ビフォー・アフターの事例イラスト



Before>>>

After>>>

- 目隠しは玄関の内側をするよりも、外側にのれんなどをかけるとかっこよく目隠しすることができます。
- 余っているプランターやブロックなどは撤去して、可愛い置物や季節の飾りでおもてなしとします。
- エアコンの室外機はそのまま見えていると、殺伐とした雰囲気になってしまうので、木製のカバーをすれば素敵になります。
- ブロック塀は温泉街に合うようにリメイクすることでかっこよさが際立ちます。

1. 玄関マット

玄関マットは化学繊維のものではなく、ココヤシなどの自然素材のものや、黒やグレーなどの落ち着いた色、設置する床の色に近い色を選ぶと目立たず、上品にみえます。

2. のれん

一着け方

○木製の枠に取り付ける場合
木の枠にのれんの棒がはっかけられる大きなフックを取り付けます。

○外壁に取り付ける場合
のれん受け(インターネットが入手可)を取り付けます。または、のれん棒が掛けられるように、大きなフックに木の棒を差し込んで取り付けます。

○塗装する場合
ペンキではなく、コンクリート染める浸透系の塗料がオススメです。ペンキを塗る場合はツヤがありません。

★オススメ塗料
アジュアードジャパン
アジュアール
(20色有)
※インターネット購入

一貼り方
一塗装方法は8ページで紹介しています。

3. エアコンカバー

木製のものがホームセンターで購入できます。木がクロスしているものではなく、格子状になっているものをおすすめです。

★オススメのスタイル
名古屋モザイク
ひだ5
2丁掛け
※インターネット購入

一用意するもの
○お好みのスタイル
①養生テープ
②スカー
③内外装用タイルボンド
④くし目コデ3mm 山
⑤パケツ(使い捨てが便利)
⑥セメント目地
⑦ゴムコデ
⑧スポンジ(海綿)
⑨ウエス
⑩タイルカッター
(カットが発生しそうな場合)

一貼り方

- 1) ブロック塀をしっかりと掃除します。
- 2) タイルを貼りた目地の床に並べて、貼る範囲と目地の幅を決めます。タイルを切らなくてもいいように調整するのがポイントです。
- 3) 貼る範囲の周りと汚れて欲しくない場所を養生テープとマスキングを使って養生します。
- 4) 水平垂直の基準線を出しておく。
- 5) ボンドをくし目コデで伸ばしながら、タイルを貼っていきます。ブロックの目地部分はしっかりボンドで均して下さい。タイルはしっかりと押し付けて貼ります。タイルのサイズは微妙に異なるため、水平・垂直・目地幅は基準線を頼りに自分量で施工します。ボンドが乾くまでなら、押しスライドさせながら微調整していきます。
- 6) 半日または一晩、ボンドを乾燥させ、固まったら、ゴムコデで目地を詰めます。ゴムコデはタイルの上を滑らせて、目地に材料をしっかりと押し込んでいきます。
- 7) 目地を詰め終わったら乾かないうちに、固く絞ったスポンジでタイルに付いた目地材を拭き取ります。目地の滑らせて全体的に拭き取ってください。
- 8) 最後に固く絞ったウエスで仕上げ拭きをして、目地が乾燥したら完成です。

4. ブロック塀

○塗装する場合
ペンキではなく、コンクリート染める浸透系の塗料がオススメです。ペンキを塗る場合はツヤがありません。

★オススメ塗料
アジュアードジャパン
アジュアール
(20色有)
※インターネット購入

一貼り方
一塗装方法は8ページで紹介しています。

図1 おてがるリノベパンフレット見開き構成例

を設けたこと、「③物品選定のポイント」において、不適切なものには大きく×印をつけたことが挙げられる。

「①ビフォー・アフターの事例イラスト」は、各項目をアップデートすることが全体としていかに魅力的な外観になるかを伝えている（図1の囲み枠A）。項目を単品で紹介するだけでは全体像がつかめず、その行為がどれくらい外部空間の魅力につながるかわからないと、やってみようという動機に繋がりにくいという経験からである。

またイラストだけでは伝わりにくいので、「②景観向上のひとことポイント」を記載した。このポイントには基本的に否定的な文言は使わず、こうなると素敵でかっこいいよね、という共感を得ることを意識した。

「③の物品選定」においては、ポイントになることをできるだけわかりやすく表記するために×印（推奨したくない物）と○印（推奨したい物）で物品を選別しコメントをつけた。その際、まちの景観にとってメリットがあるかではなく、生活者個人にとってメリットがあるかという視点でコメントを添えた。×印をつける物は、実は良かれと思って選んでしまいがちな物を選んだ。例えば日除けについていえば、“色は茶色で気をつけているから、これでいいだろう”とポリエステル製のテントを選んだり、よしずをせっかく選んでいるにもかかわらず、“重しは色も落ちついているし、収納しやすいこれでいいか”と水を入れるポリタンクタイプを選んでしまったりする。景観を気にかけているにもかかわらず、こうした残念な状況が起こるのが実は大きな課題である。そこで、ホー

2. よしず

よしずはすす竹製を選んだ方が洗ってかっよくみえます。下部のおもしは、水を入れるプラスチックやビニールのタンクではなく、マルチウエイトや石等で行うのが良いです。グリーンカーテンも素敵ですね。



日除けテント



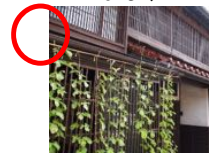
水を入れるタイプのおもし



よしず



コンクリート製のマルチウエイト



5 グリーンカーテン

→グリーンカーテンを設置する際は、グリーンボールやネットではなく、竹や麻ひも、黒のネット等を使うと風情がでます。

図2 日除けの物品選定例

ムセンターで初めに目に入りそうなもの、手に取ってしまいそうなものから×印の物を選んでいる。これに対して、○印の物も、あえてできるだけ近くのホームセンターで購入できるもの（取り寄せ含む）を選んでいる。いざ行動する時に買い物のお供にこのパンフレ

表1 長門湯本温泉「おてがるパンフレット」掲載項目と表現方法

項目	DIY方法	× (非推奨項目)	○ (推奨項目)	
日除け 目隠し	すだれ よしず	取り付け方紹介	すず竹の製品・グリーンカーテン コンクリート製のウエイト	
	のれん	取り付け方紹介	外側に吊るす	
植栽	植木鉢・プランター	不織布の鉢の紹介 プラスチックを選ぶ場合の推奨ポイント	黒っぽい色・濃い茶色 柄がないもの・素焼きのテラコッタ	
	フラワースタンド	ブロックやレンガを使った簡単DIYの紹介	木製・黒などの落ち着いた色のもの	
室外機廻り	エアコンカバー	すのこを使った簡単DIYの紹介	格子状のもの	
	露出配管	ジュートを利用した目隠し案の紹介		
おもてなしの設え	一輪挿し	取り付け方法 その他の季節飾り案の紹介		
	テーブル&チェア・ベンチ			
目立ちがちな設置物	ゴミ箱・コンテナ		プラスチック製や木目調の製品 木製の製品	
	ガラス避け		白っぽい色のもの 茶色	
	ビニールシート		色のついたガラス除けネット 黒色のネット	
	カラーコーン		ブルーシート グリーンシート	
	自動販売機		赤色・黄色 白色・茶色・竹カバー	
		白・赤・青などの目立つ色 茶色などの落ち着いた色 オリジナルカバー		
ブロック塀	おすすめの色塗りやリメイク方法の紹介			
店舗の設え	玄関マット		人工芝 自然素材	
	A看板	板材を使った簡単DIYの紹介	プラスチック・アルミ製 黒板・手作り	
	のぼり	リメイクアイデアの紹介 代替案の紹介		
	外部商品展示	いくつかの展示方法の紹介		
夜間の演出	全般		電球色のLEDを推奨	
	樹木や花壇の演出	庭のあかりのDIYの紹介	窓などに差し込んでしまう 真下から上に向かって照らす	

ットを持っていけば、なんとなく似たものが見つかるので手にとりやすい。また見当たらない時はスタッフの方に見せることで似たものを探してもらうこともできる。従って、○印のものは決してベストではないものも含まれている。ベストなものとはいえ、高価なもの、使用上負担を強いる物は選んでもらいにくいいため、安価なものの中でも悪くないものを入れることで、選択肢を増やし、良くないものを選んでしまわないように気をつけた。

(3) DIY のノウハウ

既にあるものや持っている物を活用した DIY ノウハウも紹介しており、「④DIY アイディア」は、買い替えに躊躇してしまう方や価格を重視される方に向けて掲載している。今あるものを捨てるのがもったいないから、高価だから、と諦めなくても少し手を加えるだけで改善する可能性があることを示している。例えばのぼり旗については、現状利用している店舗もあるため、ベストは利用しないことであっても、無くしましよと推奨するだけではなく、代替案を提示した。

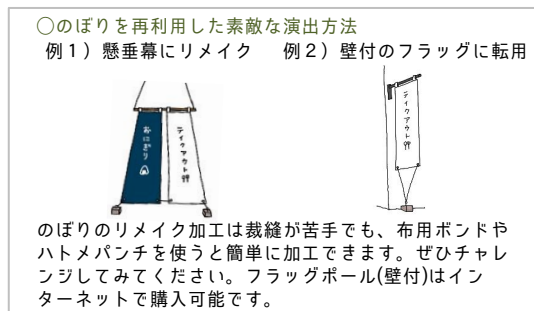


図3 のぼり旗のDIY アイディア

「⑤DIY の施工方法」については、知らないからできない、やらないとことを避け、それぞれのレベルに合わせて楽しんでもらえるよう、“そんなこと知っているよ”と思うような些細なことから、少しハードルが高いものまで載せている。ステップアップするイメージで、一輪挿しの飾り方や、すだれの取付け方から、すのこを使ったエアコンカバーの制作方法(図1 囲み枠B)、経年劣化で気になる部分のメンテナンスや景観向上につながる塗装の方法等を記載している。ただし、細かく書きすぎると情報が多くなりすぎるため、まずはやってみようと思ってもらえるような全体像を簡単に説明する内容とした。

さらに、色々なものをみてから決めたいという人や他にもDIYに挑戦したい人向けに「⑦おすすめの販売店・販売サイト」や、DIYの時に意外と盲点で困ることが多い「⑧ゴミの捨て方」も掲載した。

(5) 夜間景観のDIY

ガイドライン策定から3年以上経ち、このパンフレット



図4 ゴミの捨て方

が配布されるため、今一度思い出してほしいという想いをこめて、ガイドラインにも掲載している「⑥あかりの工夫とその方法」をおさらいしている。加えて、おすすめしている商品を購入する方法や探し方を記載した。

5. おわりに

以上、おてがるパンフレット制作の勘所を記した。一歩引いて共著者の研究視点で振り返ると、生活者によるDIYでという意味では「おてがる」ではあるが、それが景観向上につながるには動機づけから素材選定まで、現場で培ってきた相当の工夫がある。審美眼的に、ノスタルジー的に、あるいは学術的に地域の空間や景観の価値を訴えても、それが生活者の行為を縛るようにつまらなさを捉えられては結局進められないということを見てきた。そうしたなかで、本稿で紹介した生活者によるDIY的景観向上の方法は、現場においても、研究としても今後さらに深められ、共有されることを期待したい。その思いを示した表紙の言葉を紹介して結びとしたい。

「ご自宅やお店の玄関先に一手間加えてみませんか? / 日々の暮らしを彩る一つの手段として、ご自身でしかも簡単に、より素敵にする方法をご紹介します。 / みなさんがオト空間を日々の暮らしの中で楽しむことが、温泉街を訪れる方へのおもてなしにもつながります。」

パンフレット問合せ先) 長門湯本温泉まち株式会社: 長門湯本みらいプロジェクトHP, <<http://yumoto-mirai.jp>>, 2022. 05
参考文献)

- 1) 造景 2020 特集: オト天国長門湯本温泉街の再生-星野リゾートと地域の協働する観光マネジメント, 建築資料研究社,
- 2) 益尾孝祐ほか(2018): 長門湯本温泉における観光まちづくりと連携した景観ガイドラインの策定, 日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集(東北), pp. 16-17
- 3) 益尾孝祐ほか(2020): 長門湯本温泉における観光まちづくりと連携した連鎖的なりノベーション事業の実現, 日本建築学会大会建築デザイン発表梗概集(関東), pp. 376-377

連絡先メールアドレス

川原 晋 s_kawara@tmu.ac.jp

福永裕美 829fukunaga@gmail.com